

2011年版業績

A 欧文

A-a

1. Kondoh T, Kanno A, Itoh H, Nakashima M, Honda R, Kojima M, Noguchi M, Nakane H, Nozaki H, Sasaki H, Nagai T, Kosaki R, Kakee N, Okuyama T, Fukuda M, Ikeda M, Shibata Y, Moriuchi H: Donepezil significantly improves abilities in daily lives of female Down syndrome patients with severe cognitive impairment: a 24-week randomized, double-blind, placebo-controlled trial. *Int J Psychiatry Med* 41: 71-89, 2011 (IF: 0.909)
2. Ueki T, Nagai K, Ooe N, Nakashima M N, Nishida K, Nakamura J, Nakashima M: Case-controlled study on risk factors for the development of constipation in hospitalized patients. *Yakugaku Zasshi* 131: 469-476, 2011 (IF: 0.427)
3. Uematsu M, Kumagami T, Shimoda K, Kusano M, Teshima M, To H, Kitahara T, Kitaoka T, Sasaki H: Polyoxyethylene hydrogenated castor oil modulates benzalkonium chloride toxicity: comparison of acute corneal barrier dysfunction induced by travoprost Z and travoprost. *J Ocul Pharmacol Ther* 27: 437-444, 2011 (IF: 1.609)
4. Mine T, Ishii H, Nakajima S, Yoshikawa N, Miyamoto H, Nakashima M, Fumoto S, Nishida K: Rubbing gastric serosal surface enhances naked plasmid DNA transfer in rat and mice. *Biol Pharm Bull* 34: 1514-1517, 2011 (IF:1.811)
5. Ueki T, Nagai K, Mizukami Y, Takahashi A, Ooe N, Nakashima M N, Nishida K, Nakamura J, Nakashima M: Cross-sectional study on relationship between constipation and medication in consideration of sleep disorder. *Yakugaku Zasshi* 131: 1225-1232, 2011 (IF: 0.427)
6. Kurosaki T, Morishita T, Kodama Y, Sato K, Nakagawa H, Higuchi N, Nakamura T, Hamamoto T, Sasaki H, Kitahara T: Nanoparticles electrostatically coated with folic acid for effective gene therapy. *Mol Pharm* 8: 913-919, 2011 (IF:5.400)
7. Kurosaki T, Yamashita Y, Aki K, Harasawa H, Nakagawa H, Kodama Y, Higuchi N, Nakamura T, Kitahara T, Sasaki H: Secure and effective gene vector of polyamidoamine dendrimer pharmaceutically modified with anionic polymer. *J Pharm Sci* 100: 4855-4863, 2011 (IF:3.031)
8. Araki R, Yukawa E, Nakashima M N, Fukuchi H, Sasaki H, Yano K, Nakashima M: Population pharmacokinetic investigation for optimization of amiodarone therapy in Japanese patients. *Ther Drug Monit* 33: 750-756, 2011 (IF: 3.127)

B 邦文

B-a

1. 濱田光洋, 秋吉隆治, 石井純, 濱田典子, 濱田哲也, 宮崎長一郎, 大脇裕一, 池田理恵, 和田光弘, 中島憲一郎: 保険薬局における非高齢者のカルシウム拮抗薬服用後の胃酸分泌抑制薬に関する処方状況調査. *医療薬学* 37: 203-208, 2011
2. 北原隆志, 江頭かの子, 濱田久之, 兒玉幸修, 龍恵美, 中村忠博, 佐々木均, 河野茂: 長崎県下における薬剤師のためのフィジカルアセスメント修得コースの構築とその評価. *医療薬学* 37: 617-614, 2011

B-b

1. 中嶋幹郎, 手嶋無限, 坂本仁美: 大学で育むチーム医療 第1回 薬看連携を基盤とする在宅チーム医療教育の展開. *調剤と情報* 17: 925-930, 2011
2. 江頭かの子, 佐々木均: 【医薬品による下痢 Q&A】生菌整腸薬の Topics! 抗菌薬や抗がん薬とどのように併用されている?. *薬局* 62: 429-432, 2011
3. 北原隆志, 江頭かの子, 浜田久之, 兒玉幸修, 龍恵美, 中村忠博, 佐々木均, 河野茂: 「多職種連携による薬剤師のためのフィジカルアセスメントコース」の評価. *医学教育* 42: Suppl. 163, 2011
4. 今村政信, 黒崎友亮, 兒玉幸修, 北原隆志, 佐々木均: 三重複合体による新規遺伝子ベクターの開発 コンドロイチン硫酸被膜型デンドリプレックス. *Drug Delivery System* 26: 343, 2011
5. 松永典子, 北原隆志, 柳原克紀, 中川博雄, 石原亜希子, 兒玉幸修, 佐々木均: リネゾリド耐性・バンコマイシン中等度耐性黄色ブドウ球菌に感染した1症例. *TDM 研究* 28: Suppl. s174, 2011
6. 江頭かの子, 佐々木均, 兒玉幸修, 中嶋幹郎, 樋口駿, 家入一郎: タクロリムスの血中濃度に及ぼすグレープフルーツまたはザボン摂取の影響. *TDM 研究* 28: Suppl. s184, 2011

B-c

1. 江頭かの子: IV処方せんから見るフィジカルアセスメント 1 降圧薬を含む処方例. (濱田久之, 佐々木均, 北原隆志(編): 薬剤師がはじめるフィジカルアセスメント 副作用症状を見抜くためのポイント, 南江堂, 東京, pp.142-144 所収) 2011
2. 中嶋幹郎: IV処方せんから見るフィジカルアセスメント 2 脂質異常症薬を含む処方例. (濱田久之, 佐々木均, 北原隆志(編): 薬剤師がはじめるフィジカルアセスメント 副作用症状を見抜くためのポイント, 南江堂, 東京, pp.145-147 所収) 2011
3. 兒玉幸修, 北原隆志: 4 薬剤の調製 III 抗がん剤の調剤. (一川暢宏, 中嶋幹郎(編): 臨床調剤学, 南山堂, 東京, pp.240-257 所収) 2011
4. 兒玉幸修, 北原隆志: 4 薬剤の調製 IV 麻薬等の調剤. (一川暢宏, 中嶋幹郎(編): 臨床調剤学, 南山堂, 東京, pp.258-261 所収) 2011

5. 中嶋幹郎：6 薬剤の交付・服薬指導 I 薬剤の交付手順と必要なコミュニケーションスキル。（一川暢宏，中嶋幹郎(編)：臨床調剤学，南山堂，東京，pp.280-289 所収）2011
6. 中嶋幹郎：6 薬剤の交付・服薬指導 II 薬剤交付時の注意事項。（一川暢宏，中嶋幹郎(編)：臨床調剤学，南山堂，東京，pp.290-291 所収）2011
7. 兒玉幸修，北原隆志：4 薬剤の調製 III 抗がん剤の調剤。（一川暢宏，中嶋幹郎(編)：みてわかる薬学 図解臨床調剤学，南山堂，東京，pp.238-247 所収）2011
8. 兒玉幸修，北原隆志：4 薬剤の調製 IV 麻薬等の調剤。（一川暢宏，中嶋幹郎(編)：みてわかる薬学 図解臨床調剤学，南山堂，東京，pp.248-251 所収）2011
9. 中嶋幹郎：6 薬剤の交付・服薬指導 I 薬剤の交付手順と必要なコミュニケーションスキル。（一川暢宏，中嶋幹郎(編)：みてわかる薬学 図解臨床調剤学，南山堂，東京，pp.270-279 所収）2011
10. 中嶋幹郎：6 薬剤の交付・服薬指導 II 薬剤交付時の注意事項。（一川暢宏，中嶋幹郎(編)：みてわかる薬学 図解臨床調剤学，南山堂，東京，pp.280-281 所収）2011

B-d

1. 中嶋幹郎，手嶋無限，坂本仁美：平成 21 年度文部科学省戦略 GP 選定取組「在宅医療と福祉に重点化した薬学と看護学の統合教育とチーム医療総合職養成の拠点形成」平成 22 年度報告書。（長崎薬学・看護学連合コンソーシアム(編)，長崎大学）2011

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	1	0	3	20

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
中嶋幹郎・教授	評議員	日本医療薬学会
中嶋幹郎・教授	評議員	日本 TDM 学会
中嶋幹郎・教授	評議員	日本ジェネリック医薬品学会
中嶋幹郎・教授	理事	九州山口薬学会
中嶋幹郎・教授	保健医療対策協議会がん対策部会委員	長崎県
中嶋幹郎・教授	理事・生涯教育委員会委員長	長崎県薬剤師会
中嶋幹郎・教授	理事・実務実習委員会委員	長崎県薬剤師会
中嶋幹郎・教授	参加型実務実習の充実化に向けた薬学共用試験の在り方に関する調査・研究委員会委員	薬学教育協議会
中嶋幹郎・教授	薬学教育改革大学人会議 薬学教育における実務実習のあり方委員会委員	日本薬学会
中嶋幹郎・教授	認定試験問題小委員会委員	日本医療薬学会
中嶋幹郎・教授	OSCE 実施委員会委員	薬学共用試験センター
中嶋幹郎・教授	科学研究費委員会専門委員	日本学術振興会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
中嶋幹郎・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 同一薬効成分の医薬品適用時におけるヒト肝毒性イベントのリスク予測法に関する研究

兒玉幸修・助教	日本学術振興会	代表	若手研究(B) 関節リウマチをモデルとした局所型新規遺伝子医薬品の開発
---------	---------	----	--

その他

非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
中嶋幹郎・教授	非常勤講師（行動科学）	長崎歯科衛生士専門学校
手嶋無限・准教授	非常勤講師（在宅看護論）	長崎県立大学
手嶋無限・准教授	非常勤講師（在宅医療概論）	長崎国際大学
手嶋無限・准教授	非常勤講師（瑞穂町高齢者大学）	雲仙市教育委員会

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
中嶋幹郎・教授 手嶋無限・准教授 坂本仁美・助教	大学で在宅療養のあり方について学びませんか	ながさき県民大学講座のご案内	2011年 9月1日	長崎薬学・看護学連合コンソーシアムの取組（戦略 GP：在宅療養支援における多職種チーム医療の人材育成プログラム）の中の「県民フォーラム」および「社会人公開講座：在宅療養支援における多職種連携を考える」の内容が紹介された。
中嶋幹郎・教授 手嶋無限・准教授 坂本仁美・助教	長崎薬学・看護学連合コンソーシアム「実践しよう！多職種連携による在宅支援」第2回シンポジウム開催！	長崎ケーブルメディア TV ガイド	2011年 9月1日	長崎薬学・看護学連合コンソーシアムの取組の中の「第1回シンポジウム」の開催状況および「第2回シンポジウム」の案内が紹介された。
中嶋幹郎・教授	長崎薬学・看護学連合コンソーシアム「第2回シンポジウム」開催の報道	TVS テレビ佐世保「スポットインサセボ」	2011年 9月18日	戦略 GP のプロジェクトリーダーを務める中嶋幹郎教授へ取材があり、インタビューの内容や「第2回シンポジウム」の様子がテレビ報道された。
中嶋幹郎・教授 手嶋無限・准教授 坂本仁美・助教	看護師と仲良くなろう薬学と看護学の教育連携	GSK pharmacist journal （病院薬剤師と保険薬局薬剤師のため情報誌）	2011年 10月1日	長崎薬学・看護学連合コンソーシアムの取組に関する平成23年度の活動内容が紹介された。
中嶋幹郎・教授 手嶋無限・准教授 坂本仁美・助教	在宅医療の理解深める日韓専門家が講演	長崎新聞	2011年 10月25日	長崎薬学・看護学連合コンソーシアムの取組として開催した「日韓合同フォーラム」の内容が紹介された。
中嶋幹郎・教授 手嶋無限・准教授 坂本仁美・助教	次世代のチーム医療ー在宅医療における薬看連携 経過と展望ー	ケミスト （薬学生・薬剤師向け情報誌）	2011年 11月1日	長崎薬学・看護学連合コンソーシアムの取組に関する平成23年度の活動内容が紹介された。
中嶋幹郎・教授 手嶋無限・准教授 坂本仁美・助教	在宅医療教育の連携継続 県内3大学の学長会見	西日本新聞	2011年 12月14日	12月13日の「戦略 GP 公開シンポジウム」開催前に行われた連携3大学の学長による共同記者会見の内容が紹介された。

中嶋幹郎・教授 手嶋無限・准教授 坂本仁美・助教	在宅医療に携わる人材 育成成果報告	長崎新聞	2011年 12月16日	12月13日に中部講堂にて開催された 「戦略GP公開シンポジウム」の内容 が紹介された。
--------------------------------	----------------------	------	-----------------	--

○特筆すべき事項

文部科学省主催の平成22年度大学教育改革プログラム合同フォーラム（2011年1月24日～25日；東京）において、平成21年度戦略GP選定取組「在宅医療と福祉に重点化した薬学と看護学の統合教育とチーム医療総合職養成の拠点形成」の成果発表をプロジェクトリーダーの中嶋幹郎教授と専任教育職員の手嶋無限准教授が行った。